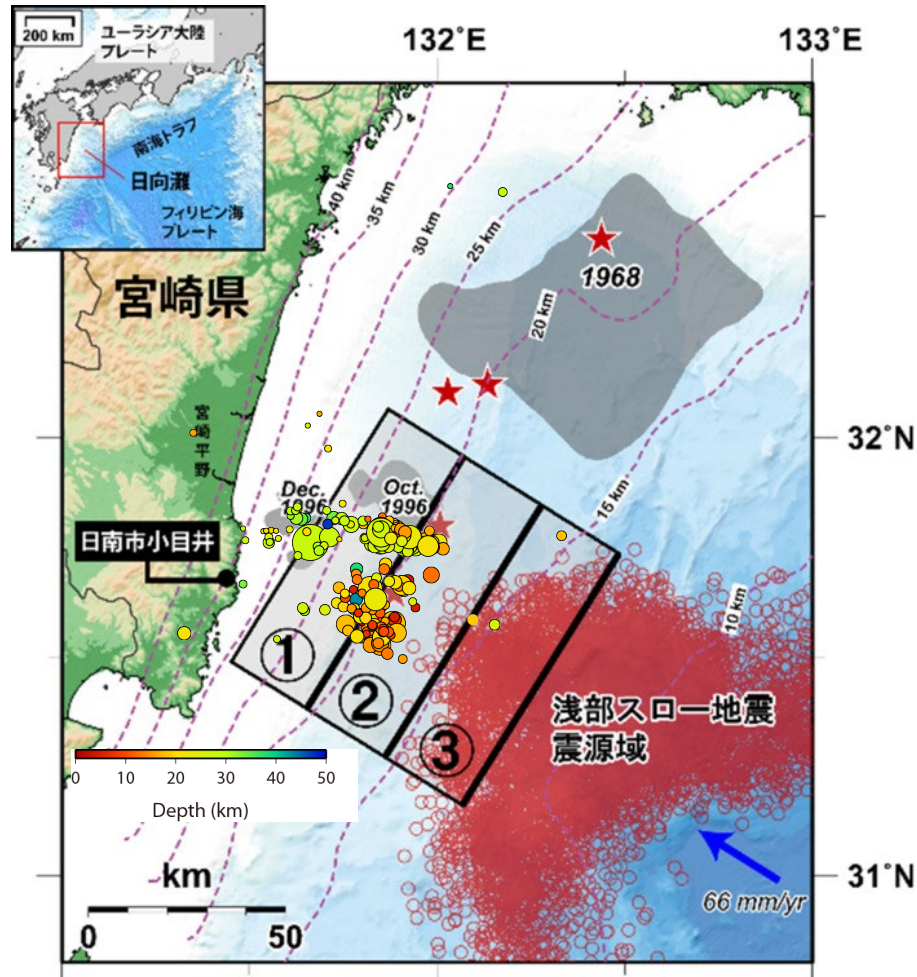


1662年日向灘地震（ M_w 7.9）の推定断層モデルとの関係

産業技術総合研究所



- 日向灘で発生した歴史上最大とされる1662年日向灘地震は、津波発生に大きく寄与するプレート境界浅部（小断層③）が大きく破壊.
- 今回の地震の破壊域は、強震動生成に大きく寄与するプレート境界部（小断層①～②）に位置する.
- 今回の地震の破壊域は、1996年10月19日に発生した地震の南部と、1996年12月3日に発生した地震の東部の破壊域に重なる.

1662年日向灘地震の断層モデルパラメータ

Subfault number	Length (km)	Width (km)	Depth (km)	Slip (m)	Strike (degree)	Dip (degree)	Rake (degree)
1	80	25	19.1	2	212	16.9	90
2	80	25	15.0	4	212	9.2	90
3	80	25	11.4	8	212	8.1	90

$$M_0 = 9.8 \times 10^{20} \text{ Nm } (M_w \text{ 7.9})$$

図1 宮崎県沿岸部における津波堆積物調査結果と浸水シミュレーションにより推定された1662年日向灘地震の断層モデル（黒の①～③）(Ioki et al., 2023) と2024年日向灘地震の余震分布（カラーの丸）. 余震は防災科研Hi-net自動震源による（本震発生から8月9日の8時台まで）.

Ioki, K., Yamashita, Y. & Kase, Y. Effects of the Tsunami Generated by the 1662 Hyuga-Nada Earthquake off Miyazaki Prefecture, Japan. *Pure Appl. Geophys.* **180**, 1897–1907 (2023). <https://doi.org/10.1007/s00024-022-03198-3>